

# Sustainability Report 2021

## [CONTENTS]

サステナビリティ・ポリシー	.....	1
環境への取組み	.....	3
お客様とともに	.....	5
お取引先様とともに	.....	6
地域社会とともに	.....	7
社員とともに	.....	8
コーポレート・ガバナンス	.....	9

### ※注意事項

当社グループとして従来より継続的に取り組んでいる事項に関しましては、掲載している記事や写真の一部に、2020年度以前の内容が含まれていることをご了承下さい。

当社グループは、「誠意をもって顧客の信頼を得る仕事をする」という経営理念の下、公明正大な事業活動を通じて、持続的な企業価値向上に努めるとともに、持続可能な社会の実現に向けて貢献します。

また、常に環境への影響に配慮して事業活動を行うとともに、人と地球のサステナブルな発展に向けて、主体的かつ能動的に社会課題の解決に取り組みます。

### □ お客様のために

常にお客様の立場に立って考え、社会的に有用で安全な製品・サービスを提供するとともに、お客様の満足と信頼を高められるよう誠意をもって行動します。

### □ お取引先様のために

メーカーや協会社などパートナー企業様との連携・協調を図り、信頼関係構築に努めます。また、公正、公平を阻害する行為は一切行わず、常に企業倫理に即した良識ある行動を実践します。

### □ 地域社会のために

企業の利益と社会の利益を調和させ、「良き企業市民」としての役割を積極的に果たし、地域社会との交流を通じて、よりよい社会づくりに貢献します。

### □ 社員ののために

社員の人格・個性・多様性を尊重するとともに、安全で働きやすい職場環境を確保し、公平で公正な処遇を実現することにより、社員のモチベーションを高めるとともに、個々人の成長の実現に取り組めます。また、メリハリある働き方を通じて、豊かで充実した生活を実現するために、サポートします。国籍・性別・年齢・思想などによる差別やハラスメントは絶対に行わず、また許しません。

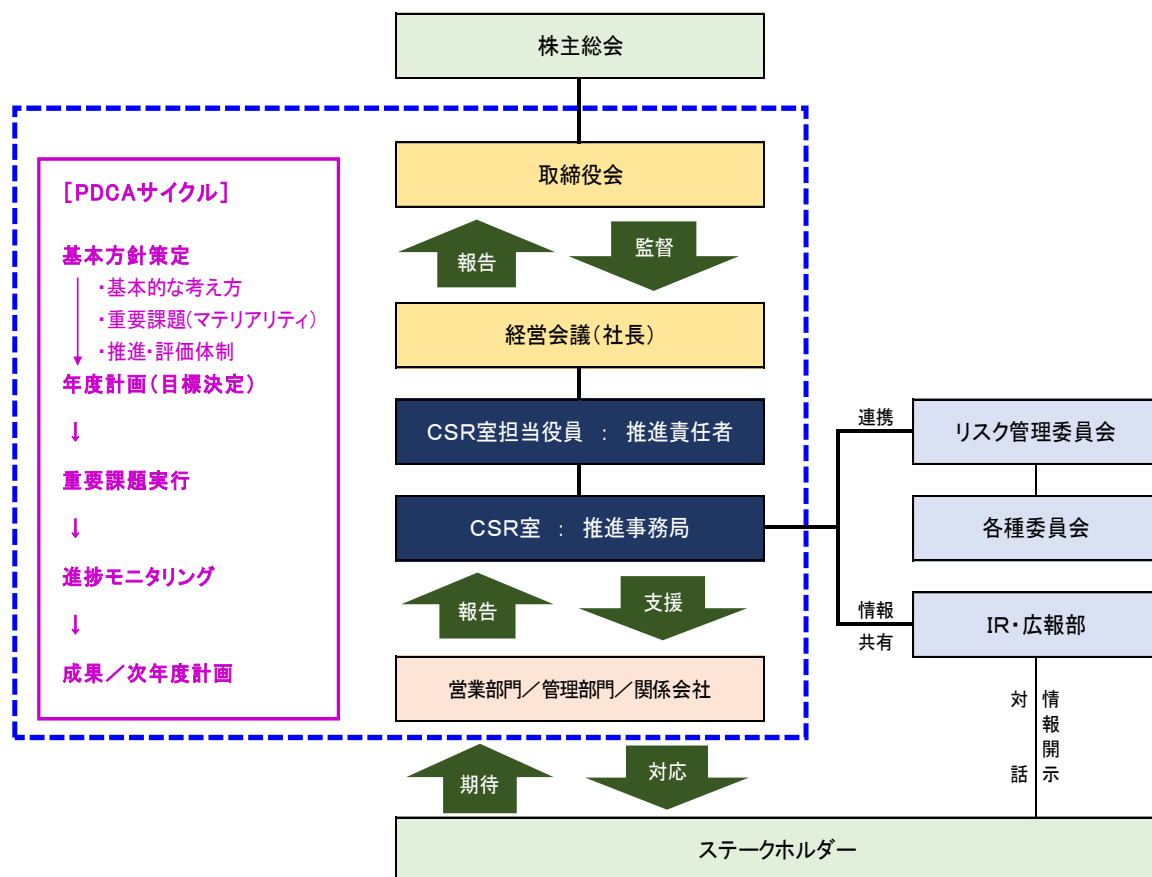
### □ 地球環境のために

環境問題への取組みが人類共通の課題であることを認識し、事業活動においては常に環境への影響に配慮しつつ、汚染予防並びに環境保全・保護に主体的に取り組めます。また、省エネ化、省資源化を推進するとともに、地球環境に配慮した製品・サービスを積極的に取扱います。

### □ 株主様や投資家のために

株主様はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示します。また、会社の持続的成長と企業価値向上を図るとともに、サステナビリティへの取組みを通じて、企業としての信頼性を一層高めます。

## ■ サステナビリティ推進体制



## ■ 重要課題（マテリアリティ）の特定

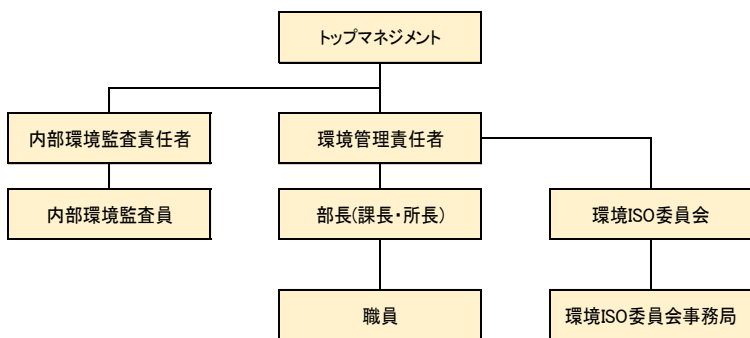
マテリアリティ	重要とした理由／取組みの方向性
コーポレートガバナンスの充実	コーポレートガバナンスは会社が社会からの信頼を得て存続する上での礎であり、経営基盤強化、企業価値向上のための重要テーマです。
コンプライアンスの徹底	コンプライアンスは会社が社会からの信頼を得て存続する上での礎であり、経営基盤強化、企業価値向上のための重要テーマです。
人材の確保・育成、多様性の確保	社員に安全で働きやすい職場環境を提供し、個々人の成長をサポートすることが、企業の持続的成長の基盤です。社員の人格・個性・多様性を尊重しつつ、人材活躍を推進してまいります。
感染症・大規模自然災害への適応	激化する自然災害、COVID-19など企業活動に重大な影響を及ぼすリスクに対して、損失を回避・縮小化するための危機管理体制を整備することは、持続的な社会実現と企業価値向上に繋がります。
環境ビジネスへの取組み	持続可能な地球環境の実現は、サステナビリティを巡る課題の中で最も重要なテーマであり、環境問題への取組みを通じて社会課題解決に積極的に関わってまいります。
インフラ整備事業への貢献	防災・減災、国土強靱化への取り組みは、安心・安全な社会の実現に繋がることから、積極的に関わってまいります。

# 環境への取組み

## 基本的な考え方

当社グループは、環境問題への取組みが人類共通の課題であることを認識し、事業活動においては、常に環境への影響に配慮しつつ、汚染予防並びに環境保全・保護に主体的に取り組めます。また、省エネ化、省資源化を推進するとともに、地球環境に配慮した製品・サービスを積極的に取扱います。

## 環境マネジメント体制



## ISO14001登録証

2007年よりISO認証を取得し、国内の全事業所において環境目標を設定、PDCAサイクルを回しながら継続的改善に取り組み、その成果を内部および外部審査で確認して、環境パフォーマンスの向上を図り、持続可能な社会の実現に貢献しています。

省エネや省人化に配慮した製品の普及、並びに事業活動そのものの合理化・効率化を通して、資源の有効活用や廃棄物の削減など地球にやさしい企業を目指します。

## 環境負荷の軽減

当社では、省エネ・省資源化を全社的取組みとして推進しています。

### 電気使用量

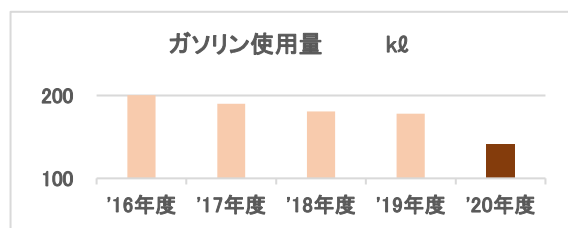
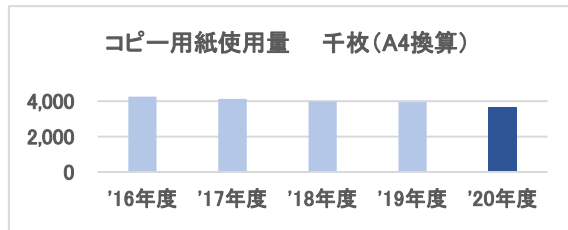
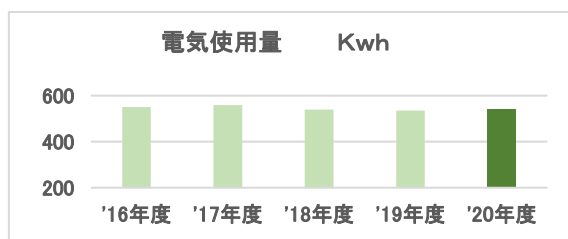
本社のLED導入効果も一巡、外部環境の変化による影響は少ないですが、昼休みの消灯などを継続し、低水準で推移しています。

### コピー用紙使用量

ICカードによる認証機能付プリンタを導入、紙資源節約に努めています。また、DX推進の一環としてデジタル化・ペーパーレス化を推進中です。

### ガソリン使用量

2020年度はコロナ禍による営業活動自粛の影響もあり、ガソリン使用量は大幅に減少しました。今後も、エコドライブの推進を継続してゆきます。



## 環境配慮型製品の販売

当社グループでは、地球環境に配慮した製品・サービスの取扱いを推進しています。各事業セグメントにおいて取扱っている環境配慮型製品の一部をご紹介します。

### ■ 電機関連事業

- **シーケンサ** エネルギー情報の収集、見える化を実現し、生産現場の環境改善に繋がります。
- **インバータ** モーターの回転速度を制御することにより、大きな節電効果が得られます。
- **空調機 (業務用・家庭用)** 新冷媒を搭載し、環境負荷軽減と省エネ性向上を実現します。
- **LED照明** グリーン購入法適合製品で、快適性向上と省エネを実現します。



### ■ 機械関連事業

- **木質バイオマス発電設備** カーボンニュートラル商材で、地域産業振興や荒廃森林整備にも繋がります。
- **廃プラスチック処理設備** 廃棄物を再利用することで、埋立て処分量やプラスチック廃材輸出の減量に繋がります。
- **農業廃棄物再生処理設備** 廃棄物を有効活用することで、ゴミ排出削減に繋がります。
- **鮮度保持技術** 長期保存や長距離輸送を可能にし、食品廃棄ロス削減や物流負荷軽減を図ります。



### ■ 建設・エネルギー関連事業

- **プラ擬木** 廃プラスチックを再資源化することにより、ゴミの発生抑制に貢献します。
- **スーパーソル** 廃ガラスピンを再資源化することにより、ゴミの発生抑制に貢献します。
- **環境配慮型潤滑油** 省燃費・省エネ・長寿命などの高性能潤滑油を供給し、環境への負荷を軽減します。
- **コンクリートポンプ車、道路機械、除雪車** 排ガス規制に適合する機械を提供することにより、CO2排出抑制と効率的なインフラ整備に貢献します。



### ■ 海運関連事業

- **再生可能エネルギーへの取組み** ナラサキスタックスでは、バイオマス発電用燃料(PKS・木質ペレット等)の運搬・荷役・保管業務に携わっています。

### 基本的な考え方

当社グループは、常にお客様の立場に立って考え、社会的に有用で安全な製品・サービスを提供するとともに、お客様の満足と信頼を高められるよう誠意をもって行動します。

### 事例紹介

#### ■ 北海道バイオマスエネルギー(株)様／木質バイオマス熱電併給設備（2019年5月稼働）

三井物産と北海道電力の共同出資による北海道バイオマスエネルギー(株)様（北海道下川郡）が建設した「下川森林バイオマス熱電併給施設」に、独ブルクハルト社の発電プラントを納入しました。本事業は、北海道内で調達した未利用間伐材を活用する小型分散型の木質バイオマス発電事業で、最大出力は1,815KWで4,000世帯分に相当し、発電した電気はすべて北海道電力に売電します。また、未利用間伐材の活用は、北海道における林業振興への貢献や地域雇用・産業創出が期待されます。



#### ■ 当別町様／西当別小学校、西当別中学校木質バイオマスボイラー（2021年1月完成）

当別町（北海道石狩郡）の西当別小学校及び西当別中学校に暖房用の木質バイオマスボイラーを納入しました。当別町では、町の面積の60%を占める森林などに由来し、町内に豊富に存在する「木質バイオマス」に着目して、町内で加工し利用する「エネルギーの地域循環」体制の構築に向けた取組みに力を入れています。この取組みにより、これまで使用されてきた化石燃料を町内で再生可能なエネルギー（木質チップ）に置き換えることで、CO2削減や地域経済の活性化につながります。



## お取引先様とともに

### 基本的な考え方

当社グループは、メーカーや協力会社などパートナー企業様との連携・協調を図り、信頼関係構築に努めます。また、公正、公平を阻害する行為は一切行わず、常に企業倫理に即した良識ある行動を実践します。

### 安全への取組み

#### ■ 安全大会

ナラサキ産業協力会社安全衛生協議会では、協力会社の皆様とともに、安全衛生についての啓蒙と災害防止活動の徹底を目的として、安全大会および研修会を開催しています。

2021年度の安全衛生目標「職場における労災ゼロ、工事現場における休業4日以上労災0」を掲げ、本州ブロック、北海道ブロックで一部WEBでの参加を含めて定時総会並びに安全大会を開催しました。

※2021年度安全衛生スローガン： 「持続可能な安全管理、未来へつなぐ安全職場」



#### ■ 安全パトロール

当社は、建設工事現場における労働者の安全性確保を目的として、当社が請け負った建設工事現場の安全パトロールを実施しています。

工事現場にて実際の作業状況を確認するとともに、現場の担当者から工事の概要や法令遵守状況等をヒヤリングした上で、気付いた不安全作業や改善点などを確認し、フィードバックしています。



## 基本的な考え方

当社グループは、企業の利益と社会の利益を調和させ、「良き企業市民」としての役割を積極的に果たし、地域社会との交流を通じてよりよい社会づくりに貢献します。  
また、地域の活性化などの社会課題の解決に、主体的に取り組んでまいります。

## 具体的な活動内容

### ■ 『震災対応SS（緊急車両用）』

ナラサキ石油が運営するガソリンスタンドのうち6SSは自家発電設備を配備した『震災対応SS』として運営しています。石油製品を安定的に供給できる態勢を整え、地震などの自然災害が発生した際には、緊急車両への燃料供給、被災者の救援、被災地域の早期復旧に貢献できるよう努めています。



### ■ アイスホッケー部活動

ナラサキスタックス・アイスホッケー部は2000年に発足、部員20名ほどで活動中です。苫小牧アイスホッケー連盟に所属、アイスホッケーの普及と競技人口の底辺拡大を通して、「氷都苫小牧」の発展に貢献しています。



### ■ 「とまこまい港まつり」への参加

とまこまい港まつり実行委員会が主催する「港まつり」に参加しています。写真は2017年に八戸三社大祭に出演した八戸市長横町町内会の山車をお借りしフェリー輸送して、市民おどりパレードに参加、市民の皆様から好評いただいた時のものです。

地域の伝統文化である「お祭り」への参加を通じて、地域住民との絆を深めるとともに、地域文化の活性化に貢献しています。



### ■ 植樹活動

ナラサキスタックスが加盟している室蘭地区トラック協会が苫小牧市と共同で市内の遊歩道などの脇に植樹活動を毎年行っています。例年、フロフネツツジなど120本程度植えるお手伝いをしています。



### ■ 「石狩湾新港見学会」の実施

毎年、港湾事業者が協力して、地域の小中学生を対象として石狩湾新港（コンテナヤード）の見学会を実施しています。

子供たちの社会学習に役立てていただいています。





### 基本的な考え方

当社グループは、社員の人格・個性・多様性を尊重するとともに、安全で働きやすい職場環境を確保し、公平で公正な処遇を実現することにより、社員のモチベーションを高めるとともに、個々人の成長の実現に取り組めます。

また、メリハリある働き方を通じて、豊かで充実した生活を実現するために、サポートします。国籍・性別・年齢・思想などによる差別やハラスメントは絶対に行わず、また許しません。

### 労働安全衛生

#### 安全衛生方針

当社は、安全衛生活動が企業経営の基盤であるとの認識の下、いかなる社会・経営環境にあっても常に安全・健康を最優先し、社会から信頼と共感をもって受け入れられる企業を目指します。

#### ■ 事務所巡視

定期的に安全管理者・衛生管理者による事務所巡視を行い、職場環境の改善・整備に努めています。

#### ■ メンタルヘルス相談

安全衛生委員会で心の健康問題について定期的に審議するとともに、産業医のカウンセリング窓口の紹介や職場復帰ガイドラインの作成など、職場におけるメンタルヘルス対策を推進しています。

#### ■ ストレスチェック

改正労働安全衛生法に基づき、年1回ストレスチェックを実施し、その結果を本人にフィードバックするとともに、申し出により 医師による面接指導を行っています。

### 人材育成

当社では、人事制度改定に伴い、教育制度の内容も見直し、2021年4月より運用を開始しました。新教育制度は、社員の成長をより効果的かつ体系的に支援することを狙いに、リニューアルしています。主な研修内容は以下の通りです。

#### ■ 新入社員研修

入社1年目の社員を対象に、社会人としての心得習得、当社内でスムーズに仕事を進めるための社内ルールを中心に学びます。

#### ■ フォローアップ研修

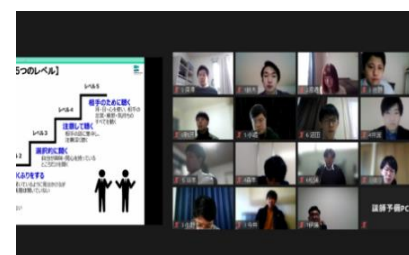
入社1年前後を目処とし、入社時研修やその後のOJTで学習した内容の振り返りとコミュニケーション力習得を目的としています。

#### ■ 選抜研修

意欲や熱意ある社員が習得した能力・スキルを一段と向上させることを目的に、海外研修や社内外セミナーを受講するしくみです。

#### ■ 各種資格奨励金制度

社員のスキルアップや自己啓発を目的として、業務に関連する公的資格等を対象に奨励金を支給しています。

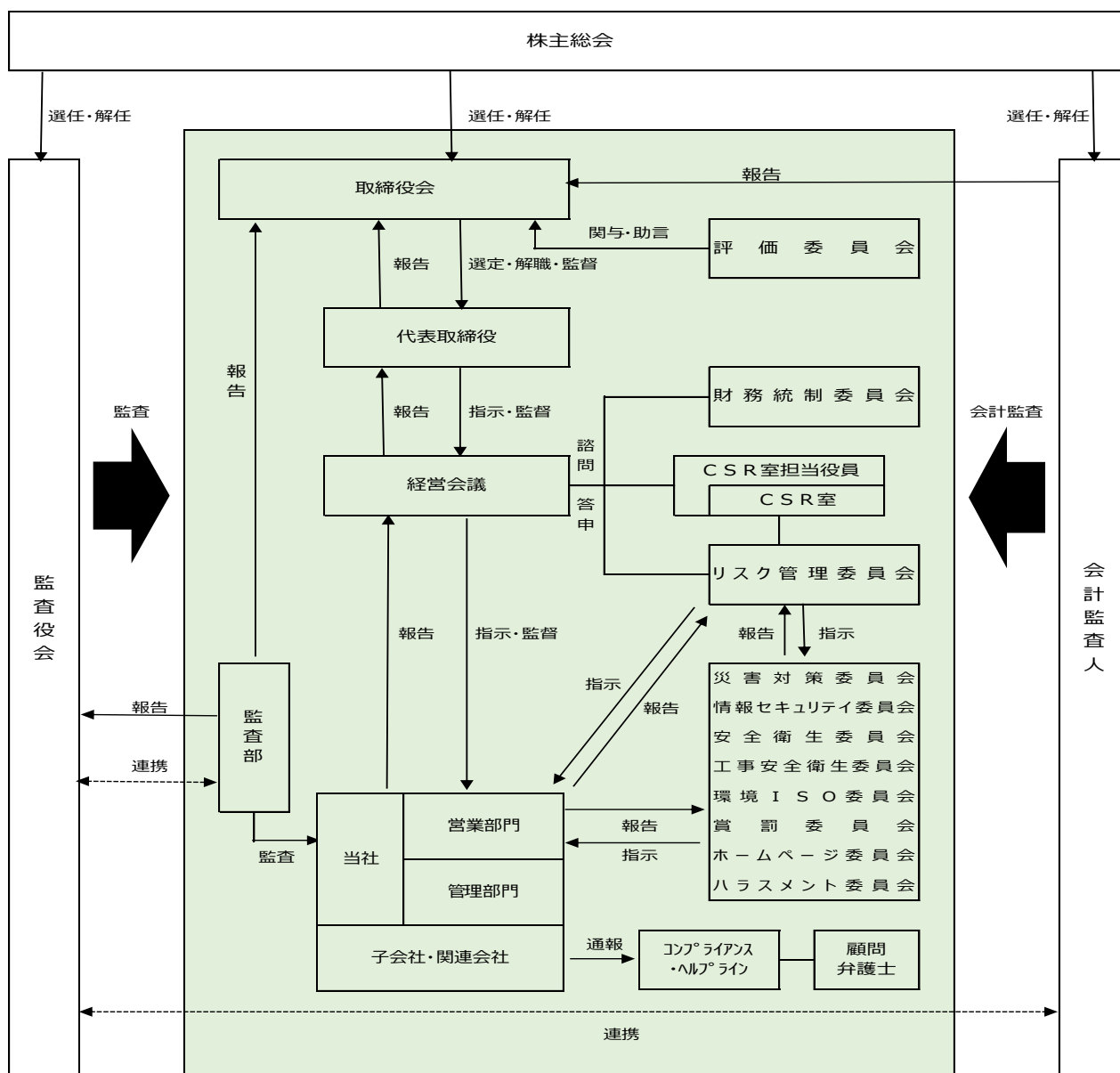


(各種研修の様子)

## 現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要

- 当社は、執行役員制度を採用しています。経営機能と役割分担の明確化により意思決定が迅速に行われ、業務執行機能の強化につながっています。また、経営の監督機能を高め、コーポレート・ガバナンスを一層強化するために、独立役員である社外取締役2名を選任しています。
- 独立役員である社外監査役2名は高い専門的知識と経験から監査を行い、経営の監督強化と透明性確保に努めています。
- コンプライアンスをはじめとするCSRを推進するために、経営会議の諮問機関としてリスク管理委員会（事務局：CSR室）を設置し、部署の内部管理責任者を通して報告されたリスク情報を集約、審議し、問題点の把握と対策に努めています。
- 法令及び定款に違反する行為を発見した場合の報告体制として、顧問弁護士と連携した社内通報制度を構築しており、通報を受けた場合の調査及び報告体制も整備しています。
- 取締役会の実効性について、年1回定期的に分析・評価し、その結果をホームページに開示しています。

## コーポレート・ガバナンス体制図





本レポートに関するお問合せ

〒104-8530 東京都中央区入船3丁目3番8号

ナラサキ産業株式会社 CSR室

TEL : 03-6732-7352 FAX : 03-3206-0611

URL : <http://www.narasaki.co.jp/>